

社員の趣味第7弾！ 女性の趣味鉄板のお菓子づくりです

お菓子作りというと、乙女な趣味のように思われがちですが、実はとっても科学的なんです。科学反応で膨らんだり固まったりするので、ちょっと気温や手順が変わると、出来もだいぶ変わってきます。そのせいで何度やっても、会心の出来！……にはならず、つついはまってしまう。

例えば、お菓子の膨らませかたにもいくつか種類があって、バターを泡立てて生地を作り、その泡の中の空気がオープンの熱で膨張し、生地の中に入っている卵が固まることによってできるのがパウンドケーキ。卵を泡立てて、その泡がオープンの熱で膨らんでできるのはスポンジケーキやガトーショコラ。ベーキングパウダーがオープンの熱で二酸化炭素を出して膨らむのはマドレーヌ。イースト菌が二酸化炭素を出して膨らむのはパンやシュトーレンです。

簡単なのはベーキングパウダーを使うタイプ。泡立て系のものに比べて膨らまないという失敗が少ないので、初心者にもおすすめです。バターを泡立てて作るパウンドケーキにも念のためベーキングパウダーを入れれば安心！

卵を泡立てて作るスポンジケーキはちょっと難しいです。泡立てに使う道具に水や油が付いていたり、卵が冷たすぎたりすると泡立ちません。ちゃんと泡だってから、粉を混ぜる時に混ぜすぎると卵の泡が消えてしまい、膨らみません。さらに、スポンジケーキは焼き上がってもスポンジにシロップを塗ったり、イチゴを載せたり、クリームを塗ったりとやることが多くて大変！

でも、上の子が誕生日のケーキが大好きで、「ママの誕生日にケーキ買って！」とねだるので、自分の誕生日ケーキを作ってみました(笑)。4人家族なので、小さめの12センチの型を使った小さいケーキです。

上の子にイチゴのせるのを手伝ってもらったら、もっともっとのせたいと言うのでイチゴを1パック全部使うことに……

デコレーションがへたなと、側面にもイチゴを貼ったらロケットみたいになったのはご愛敬。

「ママ、ケーキ屋さんやなあ」と子どもが褒めてくれたので、また作ろうねと約束しました。

買ったなら2000円以上するホールケーキですが、家で作れば、純生クリームや製菓用薄力粉などの高級な材料を使って、さらにイチゴを山盛りのせても余裕で1000円以下！ 楽しく作って、おいしく食べて、節約にもなる。究極の趣味かもしれません(笑)。(関)

お菓子 づくり編



お手伝い大好きな兄



食べるのが大好きな弟



偏食克服！かぼちゃ
パウンドケーキ

編集長特権！おねだりして味見させていただきました！ほんのりかぼちゃの味がして、おいしい！お母さんの味ですわ〜今度レシピ教えていただきます♪

編集後記

今回のメインは繁忙期大忙しだった生産管理課の奮闘記でした。なかなか表舞台にたえない生産管理課ですが、遊文舎の縁の下の力持ちとして毎日奮闘しております。お仕事も落ち着いてきたので、繁忙期を振り返りつつ、楽しいGWの計画をたてる日々です。(みやまい)



株式会社

遊文舎

<http://www.yubun.co.jp/>

E-mail info@yubun.co.jp

[大阪本社]

〒532-0012 大阪市淀川区木川東4丁目17-31

TEL: 06-6304-9325(代) FAX: 06-6304-4995

[東京営業所]

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目29-10

TEL: 03-5802-3815 FAX: 03-5802-3816

☑ 今月の紙 ☑

コスモエアライト / (86.0kg)

生産管理課
奮闘記!?



社内でいちばん(?)走りまわる部署、生産管理課。 ちょっと落ち着いたので繁忙期を振り返ってみました。

生産管理課 って…?

マネージャー 土肥 浩

いつもお世話になります、遊文舎・生産管理課の土肥と申します。

そもそも印刷会社の生産管理って何ぞや?から入りますと、弊社は制作(デザイン・組版)→製版→印刷→製本まで一環生産が身上です。これにお客様の窓口として営業が加わります。この各部署の調整役が生産管理課、主に営業を通じて受注した印刷物の仕様(サイズ・ページ数・用紙・部数・色数など)に応じて、印刷機(オフセット機4台、オンデマンド機4台所有)を決定、印刷用紙の発注、製本加工の手配から納品まで担う役で会社の収益に直接影響する重要な部署でもあります。

弊社の繁忙期は年度末(3月中)、大学関係の得意先が多く、そのため4月に発行する印刷物が集中します。それにも増して4月の増税のあおりで平年より受注数も4割ほど増加、3月だけで納品したアイテムは1000件近くのにぼり、おかげさまで売上げも過去5年間で一番となりました。

これもひとえに弊社を信頼いただき、発注して下さるお客様の賜物です。この場をかりて厚く御礼申し上げます。

宮下:「繁忙期、落ち着いてきましたね。何が一番大変でしたか?」

野田:「納期に合わせて印刷工程は日々変わりますので、それに合わせて紙の発注をするのが大変でした。一つの実験が命取りになりますので、そのプレッシャーはありましたね。一時は品不足で紙待ちになったこともあったなど」

宮下:「毎日唸ってましたね(笑)土肥さんはどうでしたか?」

土肥:「今年度は特にどこの外注先も混みまくりで、納期調整がほんと大変でしたね。協力会社の方々には無理なこともお願いしました。ほんとと感謝しております。宮下さんは?」

宮下:「私は繁忙期自体が初めて(入社1年目)ですから、毎日とにかくバタバタしてました。おかげさまで「すぐスール.com(弊社運営の印刷通販)」の電話も鳴りっぱなしだったので対応に追われてました」

野田:「すぐスールの電話はまかせっきりでしたね。助かりました、ありがとう」

宮下:「いえいえ。野田さんも土肥さんも席にいませんからね。いつもみても走り回ってつかまえるのが大変でした(笑)」

野田:「携帯がよく鳴る日々でした」

土肥:「すぐスールは即日対応だから、駆け込みはほんと多かった」

野田:「おかげさまで喜びの声を聞くことも多かったですから、それはほんと励みになりました」

* * *

宮下:「去年の繁忙期と違ったことってありました?」

土肥:「今年の忙しさは去年の比じゃなかったですよ。印刷工程管理メインの野田くんは毎日頭を抱えてましたね」

野田:「むちゃくちゃ忙しかったですね。去年は後半にまとまってきましたけど、今年は2月あたりからずっと忙しく、それとにかく3月末までにほしい!という声が多かったです」

土肥:「うん、数がとにかく多かった。特に増税の影響で伝票類が多く、外注せざるをえなくなり納期調整が大変でした。この時期外注先は全部混んでるし、急ぎでは入れてもらえないしね」

野田:「協力会社さんも大変そうでしたし、無理も言えないような状態でしたから。それでも協力してくださったのには感謝、感謝ですよ」



野田 淳平

Noda Junpei

(入社7年目)
冷静沈着、記憶力抜群!
頼りになる生産管理課の
お兄さん役。

土肥 浩

Doi Hiroshi

(入社28年目)
制作課20年、生産管理7年の入社27年
のベテラン社員。豊富な知識と経験で
生産管理課をひっぱるお父さん役。

宮下 真衣

Miyashita Mai

(入社1年目)
入社10ヵ月、仕事はコツコツ
慎重派。笑顔でがんばる癒し
系、遊文舎のゆるキャラ候補。

土肥:「急ぎの案件は多かったけど、品質に対するこだわりは譲れないし…、納品前の検査には特に注力しました」

宮下:「検品作業もいろんな部署が協力してくださいました」

土肥:「印刷現場もほんと頑張ってくれたね、徹夜状態で印刷機や製本の無線機が回ったこともありました。おかげで助かりました。納期に間に合っただけでほんとホッとしました。定期的に体調管理も大変だったね、去年は僕も含めてインフルエンザに悩まされましたが」

宮下:「奇跡的に今年は誰も倒れませんでしたね」

野田:「インフルエンザを羨望のまなざしで見ました」

宮下:「むりやり休もうとしないでください(笑)」

* * *

宮下:「お仕事落ち着いてきましたけど、何がしたいですか?ちなみに私は飲みに行きたいです。パーッと」

野田:「僕はゆっくりリツタヤに行きたいです。借りもしないのに、CDやらDVDのジャケットを眺めたいです」

宮下:「眺めるだけですか(笑)土肥さんはどうですか?」

土肥:「ゆっくり家族と過ごしたい。あと釣りに行きたい」

宮下:「うらやましい回答ですね」

* * *

宮下:「それでは来年の繁忙期に向けて、抱負を教えてください」

野田:「抱負というより教訓ですかね。今年甘かったところをリストアップして来年改善したいです」

宮下:「私はもう少し効率よく仕事をしたい。その日の優先順位を把握して、お客様にも迷惑がかからないようにしたいです」

土肥:「とにかく今年の反省点はたくさんあるので、来年度はその反省を踏まえて無駄なく動きたいものです。特に感じたことは込み合った時の人と作業環境の動線が課題かと感じました。逆に納品待ちの商品が現場にあふれたこともあり優先順位の詰めの甘さも課題です」

あらためて私たち遊文舎をご利用いただいたお客様各位、誠にありがとうございました。またこの場を借りて協力会社の皆様、各部署の皆様、本当にお疲れさまでした、そしてありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。(土肥)